

広域

# 山下ふ頭開発で質問書

## 市民団体、横浜市に提出

カジノを含む統合型リゾート施設(IR)横浜誘致への反対運動を展開してきた市民団体「カジノを考える市民フォーラム」は18日、横浜市が昨年末から意見募集

などを始めた山下ふ頭(同市中区、約47㌔)再開発の新たな事業計画策定手法について質問書を提出した。質問書では、市民意見と同時期に民間事業者からの

事業提案を募集することについて「まずは市民の声に耳を傾けることを先行すべきだ」と指摘。アフターコロナでの開発を見据えて「(2015年に策定された)横浜市都心臨海部再生マスタープランの見直しを行うべき」と再考を求めた。フォーラムは一般社団法人「勁草塾」(斉藤勤代表理事)など3団体で構成。斉藤氏は「市民を信頼し、新たな視点に立った横浜創りを市民とともに、苦楽を分かち合いながら進めてほしい」としている。

(三木 崇)

# 横浜 神奈川

## 山下ふ頭再開発 「まず市民の声を」

横浜市長宛てに 市民団体質問書

一般社団法人「勁草塾」など3団体でつくる「カジノを考える市民フォーラム」は、横浜市が昨年末から意見募集を開始したカジノを含む統合型リゾート施設(IR)の誘致予定地だった山下ふ頭(中区)の再開発について、山中竹春市長宛ての質問書を提出した。十八日付。

質問書では、IR誘致を巡る検証が終わっていないことから「検証結果が発表され、市民に内容が共有されてから開始すべきだ」と指摘。市民意見と同時に民間事業者から事業提案を募ることに「まずは市民の声に耳を傾けることを先行すべきだ」と疑問視した。

また、新型コロナウイルスの感染拡大で社会情勢が変わっているとして、「(二〇一五年策定の)市都心臨海部再生マスタープランの見直しを行うべきだ」と求めた。

(丸山耀平)